

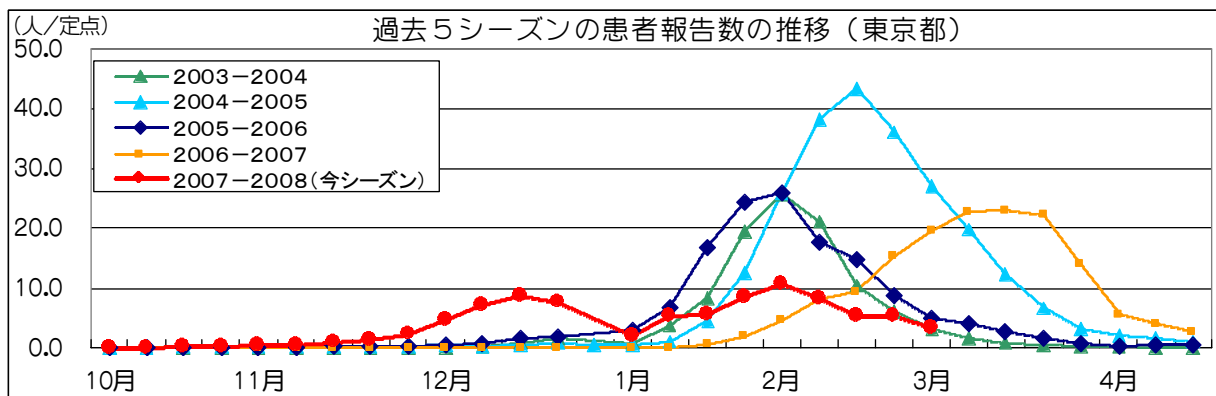
# 東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

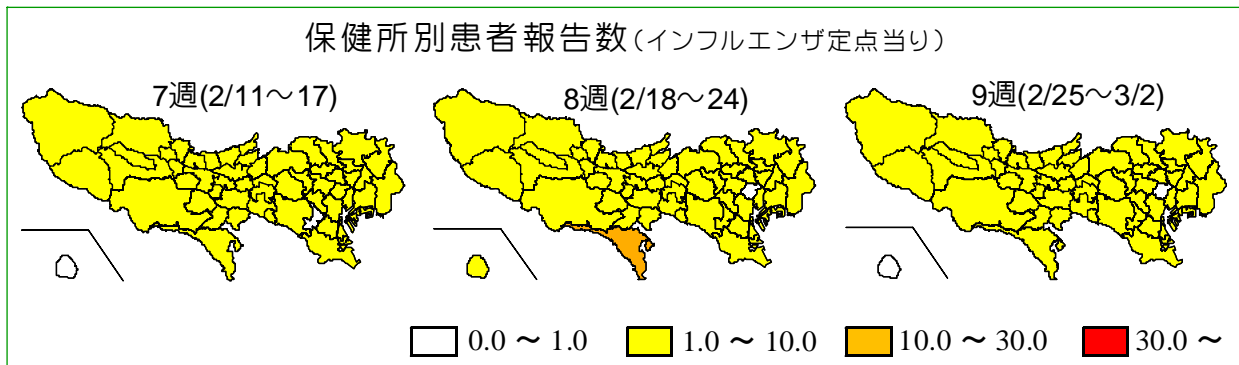
今号(第16号)のトピックス

- 第9週(2月25日から3月2日)のインフルエンザ患者報告数は 1,027人、  
定点当たり 3.55人 (去年同期 定点当たり 19.54人)
- 5区8市1村で学級閉鎖
- 12県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が10人を超えている
- 東京都の流行規模は、全国で40位

## 流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



### 1 患者発生状況

東京都におけるインフルエンザ定点\*からの第9週(2月25日から3月2日)の患者報告数は、1,027人、定点当たり 3.55人です(去年同期 定点当たり 19.54人)。インフルエンザの定点当たり報告数は4週連続して減少しています。過去5年平均の同時期と比較して半数に満たない報告数であり、全国的にも減少傾向であることから、このまま終息に向かう可能

性は高いと思われます。

全国の患者報告数は 34,204人、定点当たり 7.19人です。全国の定点当たり患者報告数は減少し、先週の約82%になっています。

\*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-4週 (9/3-1/27)	518	118	115	2	1
5週 (1/28-2/3)	39	21	18	3	0
6週 (2/4-10)	42	21	19	2	0
7週 (2/11-17)	43	11	5	1	5
8週 (2/18-24)	25	10	10	0	0
9週 (2/25-3/2)	25	7	4	1	2
合計			171	9	8

## 2 都内学校の学級閉鎖状況

2月24日から3月1日に、世田谷、豊島、北、板橋、練馬、八王子、三鷹、府中、町田、小平、国分寺、あきる野、西東京、新島の5区8市1村でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

## 3 東京都と全国の検査情報

(2007年9月以降)

3月2日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が171件、AH3亜型が9件、B型が8件、PCR法により検出されています。

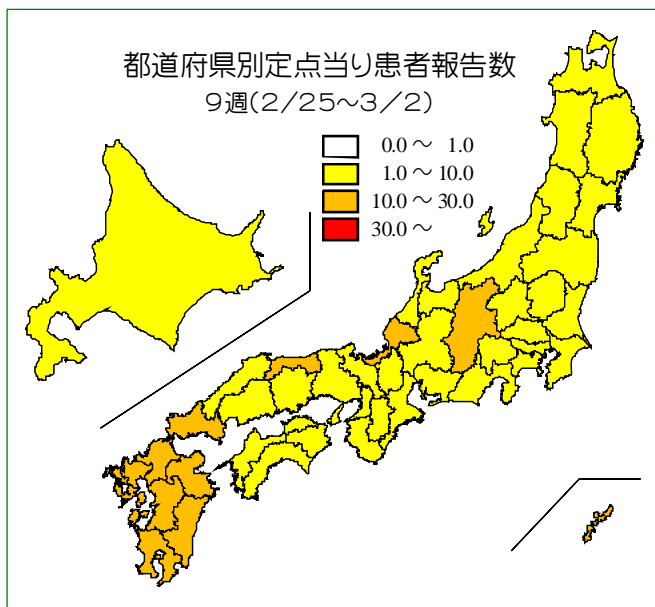
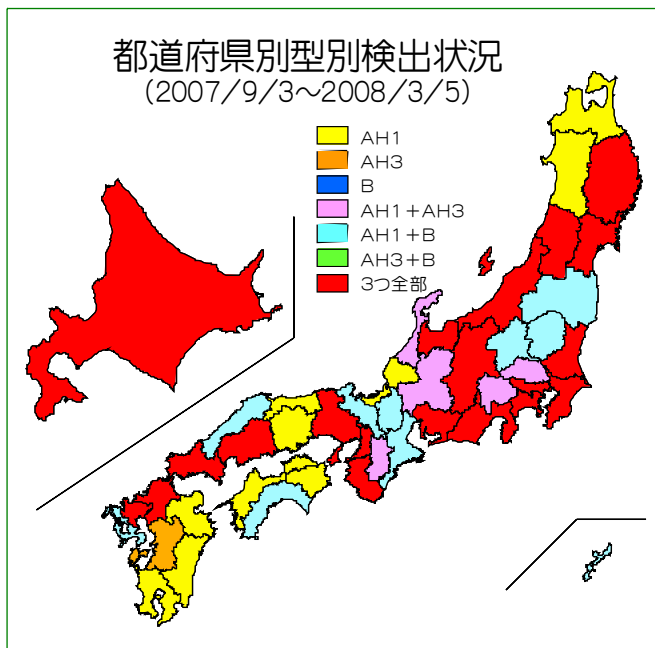
国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、3月5日までに、46都道府県からAH1亜型、26都道府県からAH3亜型、30都道府県からB型が報告されています。

今回新たに、AH3亜型が岩手、兵庫、佐賀の3県から、B型が岩手、山形、千葉、富山、兵庫、佐賀の6県から報告されました。

## 4 全国の流行状況

第9週(2月25日から3月2日)現在、12県が注意報発令の基準値であるインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。大分(24.09)、宮崎(22.44)、長崎(20.54)の九州3県は、定点当り患者報告数が20人を超えています。

東京(3.55)は全国で40番目になっています。



### ◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/